

(様式2(1))

事業所名: 認知症グループホーム楓の杜

## 目標達成計画

作成日: 平成 28年 5月 / 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6・8	知識を向上するために権利擁護・身体拘束等の研修を行う必要がある。	・個々の職員が、知識を習得し利用者への確かなケアが行える。 ・利用者・家族への助言が行えるようになる。	・外部研修に参加し確かな知識を身につける。 ・グループホーム内会議等で職員又、ケアマネによる職員研修会を行う。	12ヶ月
2	4	モニタリング、ケースや会議での記録等に乏しいところがあり、利用者の個別ケアを行う上で職員同士の情報共有がしっかりとできていないように感じる。	・利用者の状態を職員全体がしっかりと周知し、個々の利用者が過ごしやすい環境作りを目指す。	・担当職員を中心に日々の利用者情報をケース記録等で詳しく残し利用者の状態把握に努める。 ・利用者にとって今何が必要か、会議などで個々の状態を話し合い、モニタリングに反映する。その上で職員が情報を共有し同じ目標に向かってケアを行う。	6ヶ月
3					月
4					月
5					月